

漁況海況予報事業（昭和56年度）

1 実施状況

(1) 実施機関および担当者名

鳥取県水産試験場

境港分場長 佐野 茂

研究員 川口 哲夫

第一鳥取丸乗組員 13名

(2) 沿岸定線調査

イ 実施調査船

船名 第1鳥取丸

船長名 早野 一成（前田 勝美）

乗組員数 13名

調査船要目

噸数 147.87トン、馬力800HP、速力10.5ノット。

測深機 ワイヤー長 2,000 m

魚群探知機

機種 海上電機 W-33 AR-22

W-333 - CKR - 332 J

周波数 15 KHz、24 KHz、75 KHz、200 KHz。

測深範囲 0～3,200 m

記録紙 湿式

その他の観測機器

C.T.D、BT、防・被圧転倒寒暖計、電気水温計、透明度板、転倒採水器、 ネット、

Norpac Net、 ネット

ロ 観測定線概要図（別図のとおり）

ハ 調査項目

気象（天候、風向、風力、気温、気圧、雲量、雲形）

海象（水色、透明度、波向、波浪、ウネリ、海深、汐目、海鳥、海光、変色水、急潮、海鳴、海流）

魚卵、稚魚、プランクトンの採集

測温（観測層 0、10、20、30、50、75、100、150、200、300 m）

塩検用採水（観測層 同 上）

ニ 実施概要

| 調 査 年 月 日 | 船 名 | 測点数 | 欠測点数 | 調 査 員 名 |
|------------------|-------|-----|------|----------------------|
| 昭和56年 4月 1日～ 4日 | 第1鳥取丸 | 33 | 0 | 川 口 哲 夫 |
| " 5月 1日～ 8日 | " | 33 | 0 | " |
| " 9月 30日～ 10月 1日 | " | 20 | 0 | 早 野 一 成 (川 口 哲 夫) |
| " 11月 5日～ 6日 | " | 15 | 5 | " |
| " 3月 3日～ 8日 | " | 31 | 2 | " |

(3) 漁場一斉調査

イ 実施調査船

沿岸定線調査と同じく第1鳥取丸を使用し調査船要目も同様である。

ロ 観測定線概要図

別図のとおり

ハ 調査項目

気象・海象・卵稚仔・プランクトン採集・測温・塩検用採水については沿岸定線観測と同様であるが、この他にスルメイカ釣獲試験を実施した。

ニ 実施概要

| 調 査 年 月 日 | 船 名 | 測点数 | 欠測点数 | 調 査 員 名 |
|-----------------|-------|-----|------|---------|
| 昭和56年 9月 5日～ 9日 | 第1鳥取丸 | 30 | 1 | 川 口 哲 夫 |

2 調査研究結果

(1) 海洋状態と推移と特徴

4月：4月上旬の山陰沖合における海況は、表面水温が沿岸部で12～13℃、沖合が8～11℃台、50m層では沿岸で11～12℃、沖合が7～10℃台である。暖水域は日御碕沖から隠岐島北側に強く張り出しておりその勢力は弱い。島根沖冷水域は竹島南方にあり日御碕沖合に強く張り出していた。一方、柴山沖にも冷水域があり網代沖に張り出していた。

水温の年差は表面が沿岸部で1℃低め、沖合では1～2℃低め、50m層では沿岸部が1℃低め、沖合の冷水域では1～3℃低めに経過した。

5月：5月上旬の山陰沖合における海況は、表面水温が沿岸部で14～15℃、沖合では12～13℃台、50m層では沿岸部で13～15℃、沖合では8～12℃台で経過した。暖水域は、隠岐島周辺と本土沿岸海域に形成されていたが、その沖合には冷水域が東西に広がっておりその勢力は極めて強い。

水温の年差は沿岸部ではほぼ年並となっているが、沖合では0m、50m層ともに1～3℃低めと沖合域が全般的に低温で経過した。

6月：6月上旬の海況は表面水温が沿岸部で17～19℃、沖合では13～16℃、50m層では沿岸部が15～16℃、沖合では冷水域上で7～14℃、暖水域上では10～15℃台であった。暖水域は隠岐島中心に形成され、その北側海域において北北西と北北東に分派して張り出し、その先端は大和堆南西海域と竹島北方海域に達していた。冷水域はウツリヨウ島西側より浜田沖に強く張り出し、また、隠岐島北方にも冷水域があり、一方、大和堆西側より隠岐堆、柴山沖に張り出しておりその勢力は極めて強い。

水温の平年差は表面水温が全般的に1～3℃低く、50m層では暖水域上で平年並か1℃低め、冷水域上では1～5℃も低く経過した。

7月：7月上旬の海況は表面水温が沿岸部で21～22℃、沖合では17～20℃台、50m層では沿岸部が15～18℃、沖合では7～15℃台であった。暖水域は隠岐島北西より北方に張り出し、その先端は大和堆東南部に達している。冷水域は竹島海域より日御碕沖に強く張り出し、一方、隠岐堆北側にも優勢な冷水域があって隠岐島北方及び若狭湾沖合に張りだしていた。

水温の平年差は表面水温が沿岸部で1～2℃低め、沖合では2～3℃低めであり、50m層では暖水域で1～2℃低め、冷水域では2～5℃低めで経過しており全般的に異状低温となっていた。

8月：8月上旬の海況は、表面水温が沿岸部で26～28℃、沖合では24～26℃台、50m層では沿岸部が18～21℃、沖合では6～17℃台であった。暖水域は日御碕～隠岐島より北に張りだしその先端は大和堆西方海域に達している。冷水域は竹島海域にありその勢力は強い。一方、隠岐堆海域にも冷水域があり、隠岐島の東側より網代沖に張り出しておりその勢力は強い。

水温の平年差は表面が沿岸部で平年並か10℃高め、沖合では平年並か10℃低めであった。50m層では暖水域上で一部1℃高めの海域が認められたが、大部分の海域では1～2℃低めであり、冷水域上では2～4℃低めに経過した。

9月：9月上旬の海況は表面水温が沿岸で25～26℃、沖合では21～24℃台、50m層は沿岸部で21～23℃、沖合では暖水域上で15～22℃、冷水域上では8～15℃台で経過している。暖水域は隠岐島周辺を中心にして北方に張り出しており、その先端は大和堆南西海域に広がっていた。冷水域は竹島海域にあって隠岐島西方沖合に張り出しておりその勢力は強い。一方、山陰若狭沖冷水域は隠岐堆北側にあり、隠岐島北方及び若狭湾沖合に強く張り出していた。

水温の平年差は0m層が沿岸部で平年並か1℃低め、沖合では1～2℃高めとなっているが沖合の冷水域上では1～5℃も低めで沖合海域全般にわたり極めて低めに経過した。

10月：10月上旬の山陰沖合における海況は、表面水温が沿岸部で23℃、沖合では20～23℃台、50m層では沿岸部で21～23℃、沖合が10～20℃台であった。暖水域は隠岐島の西側より北方海域に強く張り出しており、冷水域は竹島海域及び隠岐島北方にあり、また、隠岐堆にも冷水域があって南に張り出していた。

水温の平年差は表面ではほぼ平年並であり、50m層では暖水域上で平年並かやや高め、冷水域上では1～4℃低めに経過した。

11月：海況は表面水温が沿岸部で20～21℃、沖合では16～20℃台であり、50m層では冷水域が11～18℃、暖水域では20～21℃台であった。暖水域は隠岐島より北に張り出しており、冷水域は隠岐島の西側海域に強く張り出している。

水温の平年差は表面水温が沿岸部で平年並、沖合では1～2℃低め、50m層は沿岸部が平年並となっており、沖合では暖水域で平年並、冷水域では1～2℃低めに経過していた。

12月：12月上旬の山陰沖合における海況は表面水温が沿岸部で18℃、沖合では14～17℃台であり、50m層が沿岸部で18℃、沖合では10～17℃であった。暖水域は日御碕沖から隠岐島周辺と経ヶ岬沖にあり隠岐島北方に強く張りだしている。冷水域は島根沖冷水域の勢力がきわめて強く竹島より隠岐島北西海域に張りだし、一方、山陰若狭沖冷水域は隠岐堆海域にあり、隠岐島北東海域から網代沖に張り出していた。

水温の平年差は表面、50m層ともに沿岸部で平年並、沖合の冷水域では1～3℃低め、暖水域では平年並に経過した。

2月：2月上旬の海況は、表面水温、50m層ともに沿岸部で11℃、沖合では8～11℃であった。暖水域は隠岐島周辺にあり、冷水域は隠岐堆北側にあって網代沖に張りだしていた。

水温の平年差は表面・50m層水温ともに1～2℃低めに経過した。

3月：3月上旬の山陰沖合における海況は表面水温が沿岸部で12～13℃、沖合では10～12℃台、50m層では沿岸部が12℃、沖合では9～12℃台であった。暖水域は浜田沖と隠岐島周辺にありそれぞれ北方に強く張り出していた。冷水域は竹島海域より日御碕沖に張りだし、一方、隠岐堆海域より隠岐島北東沖合に張り出していた。

水温の平年差は表面が平年並か1℃高め、沖合の冷水域ではやや低めであり、50m層では暖水域で平年並か1℃高め、冷水域では平年並か1℃低めであった。

(2) 主要魚種の漁況の推移と特徴

4月：大・中型巾着網の漁獲量は14,649トン、1日1統当り60トン、魚種の割合はマイワシ72%、サバ27%であり、マイワシ中羽主体に豆・小サバが漁獲され漁況は例年並に好調に経過した。

小型幅着網の漁獲量は6,514トン、1日1統当り39.5トン、魚種の割合はマイワシ96%、サバ4%であり、マイワシ中羽主体に漁況は極めて順調であった。

5月：大・中型巾着網の漁獲量は9,437トン、1日1統当り33トン、魚種の割合はマイワシ58%、サバ40%、ウルメイワシ1%でマイワシ中羽、豆・小サバ主体に漁獲され、漁獲量は例年の50%以下であり漁況は極めて低調に経過した。

小型巾着網の漁獲量は6,262トン、1日1統当り30トン、魚種の割合はマイワシ69%、サバ27%、ウルメイワシ1%でマイワシ中羽主体に豆・小サバが漁獲され漁況は好調であった。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が277トン、1航海当り1.1トン、冷凍船は13トン、1航海当り13.0トン、合計290トンであった。本年も昨年・一昨年と同じく5月の漁況は極めて低調であり過去最低であった。

6月：大・中型巾着網の漁獲量は14,557トン、1日1統当り47トン、魚種の割合はマイワシ81%、サバ16%、ウルメイワシ1%であった。6月ではマイワシ中羽主体に漁況は極めて好調に経過し近年では最も高い漁獲量を示した。

小型巾着網の漁獲量は6,488トン、1日1統当り17トン、魚種の割合はマイワシ55%、サバ22%、ウルメイワシ20%、アジ1%、カタクチイワシ1%で、マイワシ中羽主体にサバ、ウルメイワシを漁獲し漁況は好調に経過した。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が667トン、1航海当り1.8トン、冷凍船は漁獲量269トン、1航海当り10.0トンの合計936トンであった。漁況は極めて低調で先月につづいて過去の漁獲であった。

7月：大・中型巾着網の漁獲量は10,802トン、1日1統当り38トン、魚種の割合はマイワシ54%、サバ31%、ウルメイワシ15%であった。漁獲量は7月としては例年に比較し倍増しており漁況は好調に経過した。

小型巾着網の漁獲量は4,414トン、1日1統当り17トン、魚種の割合はマイワシ55%、サバ22%、ウルメイワシ20%、アジ1%、カタクチイワシ1%であり、マイワシ中羽主体に漁況は好調に経過した。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が1,018トン、1航海当り4.7トン、冷凍船の漁獲量が592トン、1航海当り14.1トンの合計1,610トンであった。漁獲量は例年に比較して減少しており、昭和53年とほぼ同じく漁況は極めて低調であった。

8月：大・中型巾着網は魚獲量が6,461トン、1日1統当り38トン、魚種の割合はマイワシ45%、サバ42%、ウルメイワシ13%、アジ1%であった。マイワシ中羽、豆・小サバ主体に8月としては過去最高の漁獲量を示し、例年の約3倍増となり漁況は極めて好調に経過した。

小型巾着網は漁獲量が2,823トン、1日1統当り18トン、魚種の割合はマイワシ66%、その他11%、ウルメイワシ9%、サバ7%、アジ5%、カタクチイワシ1%であり、マイワシ小羽主体に漁獲され漁況は順調であった。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が1,127トン、1航海当り7.4トン、冷凍船の漁獲量は1,132トン、1航海当り32.3トンの合計2,259トンであった。8月に入って漁況は好調に経過し漁獲量も増加した。

9月：大・中型巾着網の漁獲量は3,347トン、1日1統当り23トン、魚種の割合はマイワシ71%、アジ11%、ウルメイワシ5%、サバ6%、カタクチイワシ4%、その他3%であり、マイワシ小羽主体の漁況で極めて不調であったが、アジの漁獲がやや多く認められた。

小型巾着網は漁獲量2,106トンで、1日1統当り11トン、魚種の割合はマイワシ58%、その他22%、アジ9%、ウルメイワシ5%、カタクチイワシ4%、サバ3%であり、マイワシ小羽主体に漁況は低調であった。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が613トン、1航海当り5.0トン、冷凍船の漁獲量は864トン、1航海当り37.6トンの合計1,477トンであった。漁況は極めて低調であり漁獲量も近年の最低であった。

10月：大・中型巾着網の漁獲量は1,699トン、1日1統当り11トン、魚種の割合はサバ26%、マイワシ23%、アジ22%、カタクチイワシ14%、その他13%、ウルメイワシ3%であった。10月の漁獲量は年間の最低で例年との比較でも漁況はきわめて低調であった。

小型巾着網の漁獲量は680トン、1日1統当り4トン、魚種の割合はその他(ハマチ主体)50%、アジ31%、サバ19%であった。漁況は低調で瀬付の魚群対象に操業しハマチ、小・豆アジ主体の漁獲であった。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が471トン、1航海当り4.7トン、冷凍船では605トン、1航海当り16.4トンの合計1,076トンであった。漁獲量は例年並であるが昨年に比較し半減した。

11月：大・中型巾着網の漁獲量は20,031トン、1日1統当り124トン、魚種の割合はマイワシ96%、

サバ2%、アジ2%であった。11月では隠岐島西方20～40マイル沖合の潮目海域に大・中羽マイワシの好漁場が形成され漁況はきわめて好調に経過した。

小型巾着網の漁獲量は984トン、1日1統当り9トン、魚種の割合はカタクチイワシ29%、サバ24%、マイワシ20%、アジ11%、その他14%であり、カタクチイワシ、マイワシ、サバが混獲され漁況は低調に経過した。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が977トン、1航海当り5.5トン、冷凍船の漁獲量が1,043トン、1航海当り20.1トンの合計2,020トンであった。漁獲量は近年の最低で漁況は極めて低調に経過した。

12月：大・中型巾着網の漁獲量は37,552トン、1日1統当り189トン、魚種の割合はマイワシ79%、サバ12%、ウルメイワシ5%、アジ4%であった。本月は沿岸海域にマイワシの濃密群が来遊したため漁況は極めて好調に経過し過去最高の漁獲量を示した。しかし、マサバ越冬群の来遊が少なく漁獲された魚体の大きさも当才魚主体と小型化した。その他の特徴としてマアジ当才魚の漁獲増加が認められた。

小型巾着網の漁獲量は2,694トン、1日1統当り13トン、魚種の割合はマイワシ26%、サバ25%、ウルメイワシ19%、カタクチイワシ15%、アジ14%であり、マイワシ中羽、小サバ主体に漁況は好調であった。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が610トン、1航海当り1.6トン、冷凍船の漁獲量は658トン、1航海当り14.6トンの合計は1,268トンであった。例年の漁獲と比較すると本年が最も漁獲が多く冬生れ群の増加がやや認められた。

1月：大・中型巾着網の漁獲量は15,311トン、1日1統当り96トン、魚種の割合はサバ70%、アジ17%、マイワシ11%であった。漁況は順調であったがサバ・アジともに先月と同じく当才魚主体であり、アジの漁獲増が認められたが、サバ魚群の小型化が顕著であった。

小型巾着網の漁獲量は1,222トン、1日1統当り15トン、魚種の割合はサバ39%、マイワシ26%、アジ21%、カタクチイワシ12%、ウルメイワシ1%であり漁況は1月としては順調に経過した。

スルメイカ漁業は生船の漁獲量が515トン、1航海当り(1～2日)0.9トン、冷凍船の漁獲量は14トン、1航海当り2.8トンの合計529トンであった。1月はスルメイカの魚群の隠岐島近海への来遊が多く、冷凍船も生鮮イカを水揚げし、操業日数も漁場が近いため1～2日である。漁況は1月としては好調に経過した。

2月：大・中型巾着網の漁獲量は16,800トン、1日1統当り66トン、魚種の割合はサバ55%、マイワシ26%、アジ17%であった。2月の漁況も1月とほぼ同様な魚種・銘柄組成を示し豆サバ、中羽イワシ主体に漁獲し、漁況は順調に経過した。

小型巾着網は漁獲量が4,336トン、1日1統当り36トン、魚種の割合はマイワシ71%、サバ22%、アジ4%、カタクチイワシ1%でマイワシ小・中羽主体に豆・小サバを漁獲し漁況はきわめて好調であった。

スルメイカ漁業は生船が666トン、1航海当り(1～2日)0.9トン、であり冷凍船は全船が生鮮イカを水揚げし、冷凍イカの水揚げは皆無であった。漁況は隠岐島近海への冬生れ群の来遊が多く2月としては極めて好調に経過した。

3月：大・中型巾着網の漁獲量は9,096トン、1日1統当り67トン、魚種の割合はマイワシ77%、

サバ16%、その他5%、アジ2%であった。本月もマイワシ中羽主体に漁況は順調に経過した。

小型巾着網の漁獲量は3,980トン、1日1統当り33トン、魚種の割合はマイワシ78%、サバ20%、アジ1%でマイワシ中羽主体に漁況は好調に経過した。

(3) 昭和56年における主要魚種資源の評価

イ マ ア ジ

昭和56年(1月～12月)に境港において、大・中型巾着網で漁獲されたマアジの総漁獲量は、3,072トン、1日1統当り1.3トンで全漁獲量に占める割合は2%である。漁獲量の月別変動は1月と9～12月に漁獲が多いが特に12月には1,365トンと年間で最も多い漁獲を示した。山陰沖合におけるマアジ資源はわずかに増加傾向がみられるものの、対馬暖流域における資源の低落を反映して極めて低水準で経過している。

ロ マ サ バ

昭和56年(1月～12月)における境港の大・中型巾着網によるマサバ漁獲量は57,184トン、1日1統当り14.2トンで全漁獲量に占める割合は21%であった。漁獲量の月別変動については1月に9,312トンと最高漁獲を示したが、産卵期の4～6月には2,000～3,000トン台と低調な漁獲をみた。9～11月には100～400トンと漁獲量は極めて少ないが、12月には4,510トンが漁獲された。

山陰沖合におけるマサバ資源は昭和45年より急増し52年には漁獲量の最高値を示したが、53年には半減し、本年は約半に減少しており昨年に比較しても約2万トンも急減した。

ハ マイワシ

昭和56年(1月～12月)における境港のマイワシ漁獲量は大・中型巾着網が118,522トン、1日1統当り49トンで総漁獲量に占める割合は73%であり、小型巾着網では25,337トン、1日1統当り14トンで総漁獲量に占める割合は68%であった。

漁獲量の季節変動は2～4月に1万トン台、6月にも1万トン台となったが、7～9月では2～5千トン台、10月には300トン台で年間の最低を示したが、11月では19万トン、12月が29万トンと年間の最高漁獲を示した。

対馬暖流域におけるマイワシ資源の増加傾向にしたがって、境港においても大・中型巾着網のマイワシ漁獲量の経年変動は、昭和48年より増加し1万トン台となったが、51～53年には3万トン台、54年には6万トン台、本年は11万トンと急増をつづけており、その資源は極めて高水準で経過している。

ニ ウルメイワシ

昭和56年の境港におけるウルメイワシの漁獲量は大・中型巾着網が4,821トン、1日1統当り2トン、総漁獲量に占める割合は3%であった。

漁獲量の季節変動は夏季の7～8月と冬季の12月に漁獲が多かった。

山陰沖合におけるウルメイワシは近年増加傾向がみられるが、本年は昨年に比較して半減している。しかし、資源量そのものは例年並であった。

ホ カタクチイワシ

昭和56年の境港におけるカタクチイワシの漁獲量は大・中型巾着網が434トン、1日1統当り0.2トン、総漁獲量に占める割合は0.3%であり、小型巾着網の漁獲量は987トン、1日1統当り

0.5トン、総漁獲量に対する割合は3%であった。漁獲量の季節変動は大型巾着網では9～10月に年間の大部分が漁獲され、小型巾着網では6月と11～12月に好漁が認められた。

山陰沖合におけるカタクチイワシの資源は近年低水準で経過しており、巾着網の漁獲量は極めて少なかった。

へ スルメイカ

昭和56年の境港における沖合スルメイカの漁獲量(1～12月)は、生船が7,238トン、1航海当たり2.8トンで、冷凍船は5,258トン、1航海当たり19.8トンの合計12,496トンで、昨年よりは4,206トン減少している。日本海におけるスルメイカの資源水準については、昭和52年より急減しており、昨年はやや漁獲の増加が認められたものの本年は1昨年並の漁獲量に減少し資源は低水準のまま経過した。しかし、冬生れ群についてはやや漁獲量が増加し資源の上向傾向を示した。

表一 1 一(1) 1981 年境港巾着網漁獲高(大・中型)

(()内は%)

| 月 | 総漁獲高 (トン) | 延出 統計 | 漁 数 | 1日1統計 当り (トン) |
|----|--------------|----------|--------|------------------|
| 1 | 15,753 | 174 | 174 | 90.5 |
| 2 | 17,035 | 132 | 132 | 128.8 |
| 3 | 10,679 | 132 | 132 | 80.9 |
| 4 | 14,649 | 245 | 245 | 59.8 |
| 5 | 9,437 | 289 | 289 | 32.7 |
| 6 | 14,557 | 307 | 307 | 47.4 |
| 7 | 10,802 | 288 | 288 | 37.5 |
| 8 | 6,461 | 169 | 169 | 38.2 |
| 9 | 3,347 | 144 | 144 | 23.2 |
| 10 | 1,699 | 159 | 159 | 10.7 |
| 11 | 2,031 | 161 | 161 | 124.4 |
| 12 | 37,552 | 200 | 200 | 188.8 |
| 計 | 162,002 | 2,400 | 2,400 | 67.5 |

| 月 | かた くち 漁獲高 (トン) | まい わし 1日1統計 当り (トン) | うる めいわし 1日1統計 当り (トン) | さ き 1日1統計 当り (トン) | あ じ | | そ の 他 1日1統計 当り (トン) | | | |
|----|-------------------------|------------------------------|--------------------------------|----------------------------|----------------|------------------|---------------------------------|-----|-------------|-----|
| | | | | | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 当り (トン) | | | | |
| 1 | 0 | 6,080 (39) | 34.9 | 5 | 9,312 (59) | 53.5 | 289 (2) | 1.7 | 67 | 0.4 |
| 2 | 38 | 14,034 (82) | 106.1 | - | 2,826 (16) | 21.4 | 97 (1) | 0.7 | 36 | 0.3 |
| 3 | 0 | 10,257 (96) | 77.7 | 0 | 356 (3) | 2.7 | 50 | 0.4 | 16 | 0.1 |
| 4 | 0 | 10,606 (72) | 43.3 | 1 | 3,978 (27) | 16.2 | 7 | - | 57 | 0.2 |
| 5 | 11 | 5,461 (58) | 18.9 | 108 (1) | 3,782 (40) | 13.1 | 25 | 0.1 | 50 (1) | 0.2 |
| 6 | - | 11,757 (81) | 38.3 | 161 (1) | 2,391 (16) | 7.8 | 58 | 0.2 | 190 (1) | 0.6 |
| 7 | 4 | 5,787 (54) | 20.1 | 1,600 (15) | 3,316 (31) | 11.5 | 56 | 0.2 | 39 | 0.1 |
| 8 | 9 | 2,886 (45) | 17.1 | 814 (13) | 2,683 (42) | 15.9 | 67 (1) | 0.4 | 2 | - |
| 9 | 142 (4) | 2,370 (71) | 16.4 | 170 (5) | 193 (6) | 1.3 | 373 (11) | 2.6 | 99 (3) | 0.7 |
| 10 | 230 (14) | 398 (23) | 2.5 | 43 (3) | 447 (26) | 2.8 | 368 (22) | 2.3 | 213 (13) | 1.3 |
| 11 | - | 19,137 (96) | 118.9 | 51 () | 401 (2) | 2.5 | 317 (2) | 2.0 | 125 (1) | 0.8 |
| 12 | - | 29,745 (79) | 148.7 | 1,868 (5) | 4,510 (12) | 22.6 | 1,365 (4) | 6.8 | 64 | 0.3 |
| 計 | 434 (0.3) | 118,522 (73) | 49.4 | 4,821 (3) | 34,195 (21) | 14.2 | 3,072 (2) | 1.3 | 968 (1) | 0.4 |

表一 1 一(2) 1982 年境港巾着網漁獲高(大・中型)

(()内は%)

| 月 | 総漁獲高 (トン) | 延出 統計 | 漁 数 | 1日1統計 当り (トン) |
|---|--------------|----------|--------|------------------|
| 1 | 15,311 | 159 | 159 | 96.3 |
| 2 | 16,800 | 253 | 253 | 66.4 |
| 3 | 9,096 | 136 | 136 | 66.9 |

| 月 | かた くち 漁獲高 (トン) | まい わし 1日1統計 当り (トン) | うる めいわし 1日1統計 当り (トン) | さ き 1日1統計 当り (トン) | あ じ | | そ の 他 1日1統計 当り (トン) | | | |
|---|-------------------------|------------------------------|--------------------------------|----------------------------|----------------|------------------|---------------------------------|------|------------|-----|
| | | | | | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 当り (トン) | | | | |
| 1 | - | 1,791 (11) | 11.3 | 35 | 10,752 (70) | 67.6 | 2,607 (17) | 16.4 | 126 (1) | 0.8 |
| 2 | - | 4,440 (26) | 17.5 | - | 9,175 (55) | 36.3 | 2,893 (17) | 11.4 | 292 (2) | 1.2 |
| 3 | - | 7,072 (77) | 52.0 | - | 1,447 (16) | 10.6 | 139 (2) | 1.0 | 438 (5) | 3.2 |

表一2一(1) 1982年境港巾着網漁獲高(小型)

(()内は%)

| 月 | かたくち | | まいわし | | うるめいわし | | さ | | あ | | じ | | その他 | |
|----|-------------|----------------|----------------|----------------|--------------|----------------|---------------|----------------|--------------|----------------|--------------|----------------|-------------|----------------|
| | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) |
| 1 | 0 | - | 131 (25) | 4.4 | 0 | - | 338 (66) | 11.3 | 19 (4) | 0.6 | 28 (5) | 0.9 | | |
| 2 | 0 | - | 400 (62) | 15.4 | 0 | - | 210 (32) | 8.1 | 15 (2) | 0.6 | 21 (4) | 0.8 | | |
| 3 | 36 (1) | 4.3 | 2,714 (92) | 32.7 | 0 | - | 127 (4) | 1.5 | 51 (2) | 0.6 | 16 (1) | 0.2 | | |
| 4 | 0 | - | 6,243 (96) | 37.8 | 0 | - | 264 (4) | 1.6 | - | - | 7 | - | | |
| 5 | 7 | - | 4,332 (69) | 20.9 | 79 (1) | 0.4 | 1,703 (27) | 8.2 | 37 | 0.2 | 104 (2) | 5.0 | | |
| 6 | 104 (2) | 0.4 | 5,114 (79) | 19.6 | 219 (3) | 0.8 | 844 (13) | 3.2 | 70 | 0.3 | 137 (2) | 0.5 | | |
| 7 | 41 (1) | 0.2 | 2,415 (55) | 9.3 | 862 (20) | 3.3 | 967 (22) | 3.7 | 36 (1) | 0.1 | 93 (2) | 0.4 | | |
| 8 | 22 (1) | - | 1,867 (66) | 11.6 | 263 (9) | 1.6 | 201 (7) | 1.2 | 150 (5) | 0.9 | 320 (11) | 2.0 | | |
| 9 | 80 (4) | 0.4 | 1,219 (58) | 6.6 | 103 (5) | 0.6 | 65 (3) | 0.4 | 186 (9) | 1.0 | 453 (22) | 2.5 | | |
| 10 | | | | | 1 | | 131 (19) | 0.8 | 209 (31) | 1.3 | 339 (50) | 2.1 | | |
| 11 | 287 (29) | 2.6 | 200 (20) | 1.8 | 19 | 0.2 | 233 (24) | 2.1 | 106 (11) | 0.9 | 139 (14) | 1.2 | | |
| 12 | 410 (15) | 1.9 | 702 (26) | 3.3 | 504 (19) | 2.4 | 661 (25) | 3.1 | 387 (14) | 1.8 | 30 | 0.1 | | |
| 計 | 987 (3) | 0.5 | 25,337 (68) | 13.6 | 2,050 (6) | 1.1 | 5,744 (16) | 3.1 | 1,266 (3) | 0.7 | 1,687 (5) | 0.9 | | |

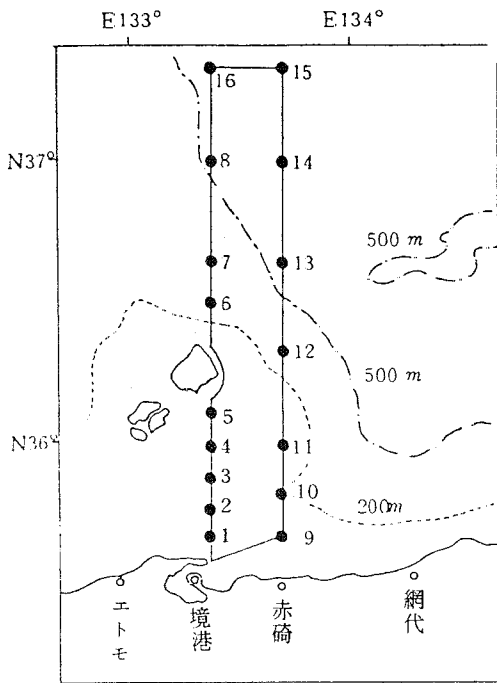
表一2一(2) 1983年境港巾着網漁獲高(小型)

(()内は%)

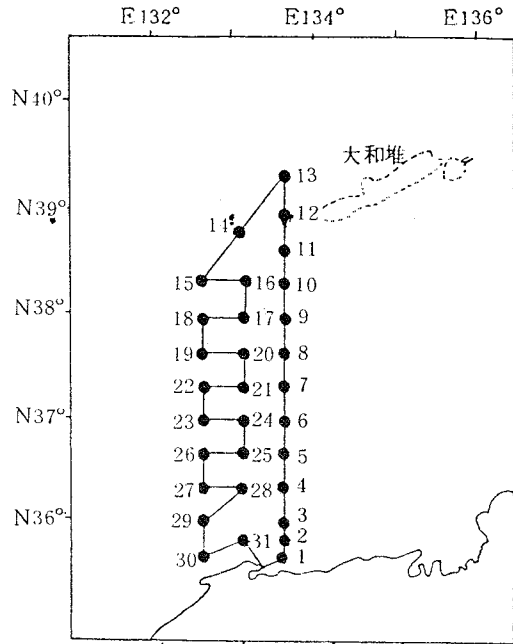
| 月 | かたくち | | まいわし | | うるめいわし | | さ | | あ | | じ | | その他 | |
|---|-------------|----------------|---------------|----------------|-------------|----------------|-------------|----------------|-------------|----------------|-------------|----------------|-------------|----------------|
| | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) | 漁獲高 (トン) | 1日1統計 り(トン) |
| 1 | 149 (12) | 1.8 | 322 (26) | 3.9 | 7 (1) | 0.1 | 479 (39) | 5.9 | 254 (21) | 3.1 | 11 (1) | 0.1 | | |
| 2 | 32 (1) | 0.3 | 3,086 (71) | 25.9 | - | - | 946 (22) | 7.9 | 175 (4) | 1.5 | 97 (2) | 0.8 | | |
| 3 | | | 3,086 (76) | 25.3 | - | - | 783 (20) | 6.4 | 48 (1) | 0.4 | 63 (2) | 0.5 | | |

| 月 | 総漁獲高 (トン) | 延出 統 | 延出漁 数 | 1日1統計 り(トン) |
|----|--------------|---------|----------|----------------|
| 1 | 516 | 30 | 30 | 17.2 |
| 2 | 646 | 26 | 26 | 24.3 |
| 3 | 2,944 | 83 | 83 | 35.5 |
| 4 | 6,514 | 165 | 165 | 39.5 |
| 5 | 6,262 | 207 | 207 | 30.3 |
| 6 | 6,488 | 261 | 261 | 24.9 |
| 7 | 4,414 | 261 | 261 | 16.9 |
| 8 | 2,823 | 161 | 161 | 17.5 |
| 9 | 2,106 | 184 | 184 | 11.4 |
| 10 | 680 | 159 | 159 | 4.3 |
| 11 | 984 | 112 | 112 | 8.8 |
| 12 | 2,694 | 214 | 214 | 12.6 |
| 計 | 37,071 | 1,863 | 1,863 | 19.9 |

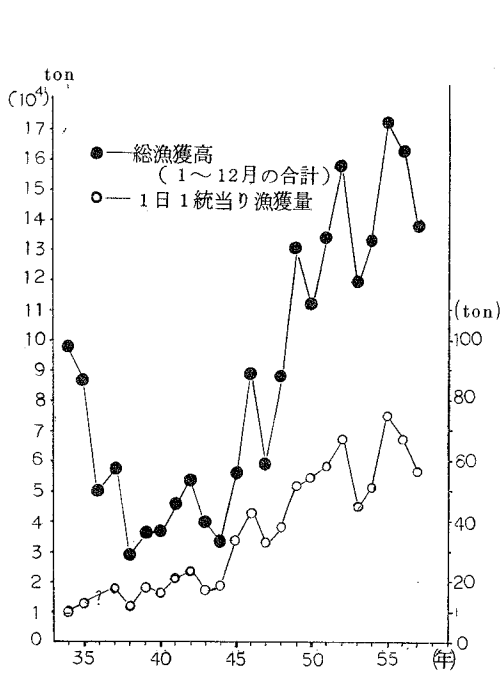
| 月 | 総漁獲高 (トン) | 延出 統 | 延出漁 数 | 1日1統計 り(トン) |
|---|--------------|---------|----------|----------------|
| 1 | 1,222 | 81 | 81 | 15.1 |
| 2 | 4,336 | 119 | 119 | 36.4 |
| 3 | 3,980 | 122 | 122 | 32.6 |



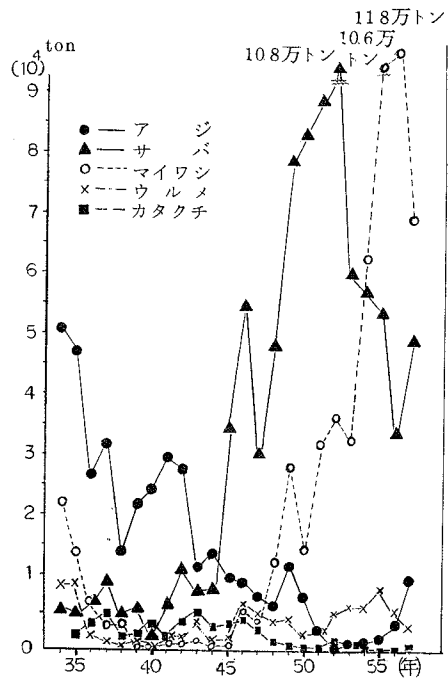
図一 沿岸定線点図



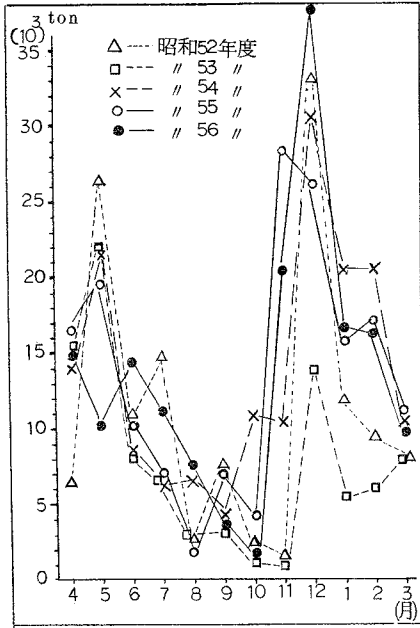
図二 スルメイカ漁場一斉調査定点図



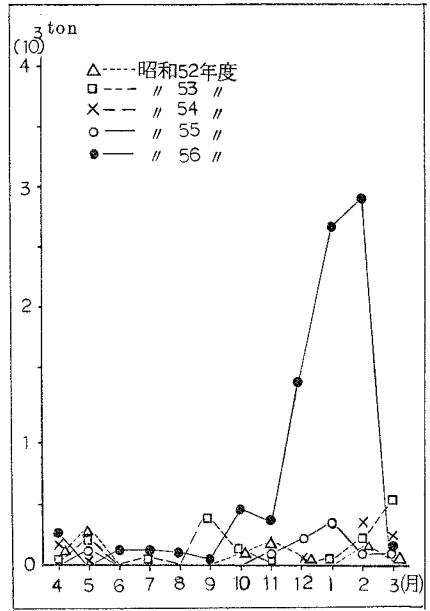
図三 境港における巾着網漁獲量の経年変化(大・中型巾着網)



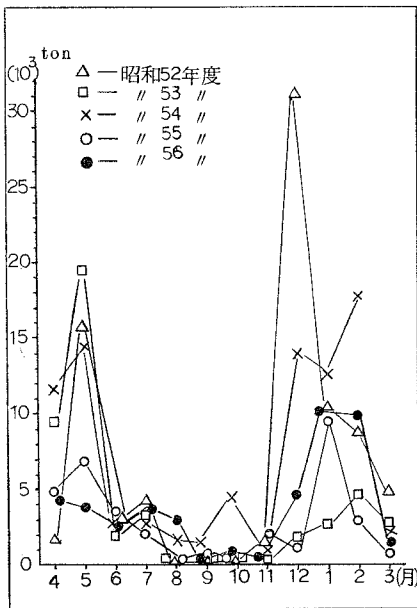
図四 境港における巾着網の魚種別経年変化(大・中型巾着網)



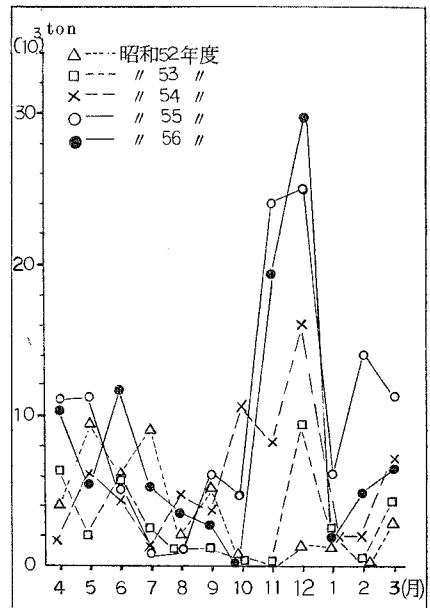
図一五 境港における巾着網月別
総漁獲高(大・中型)



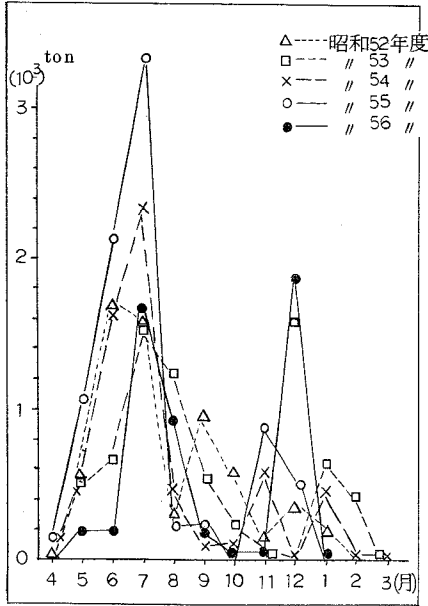
図一六 境港におけるアジの月別
漁獲高(大・中型)



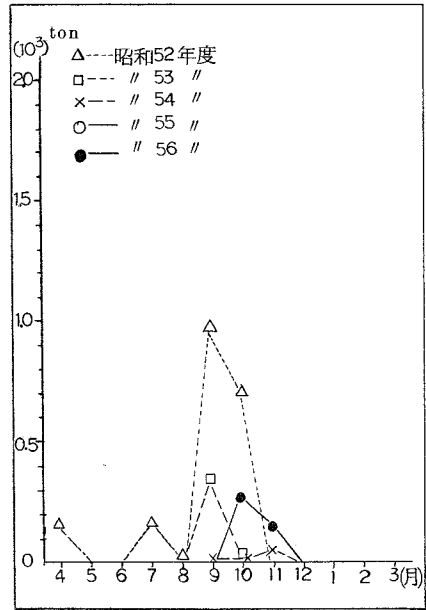
図一七 境港におけるサバの月別
漁獲高(大・中型)



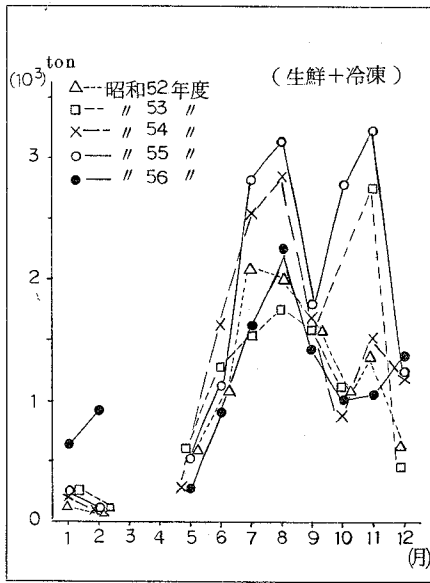
図一八 境港におけるマイワシの月別
漁獲高(大・中型)



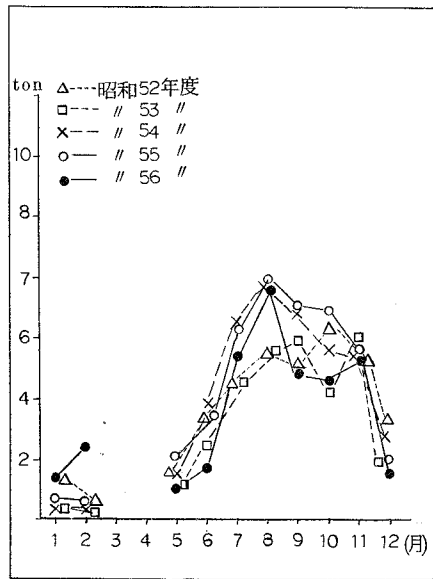
図一〇 境港におけるウルメイワシの
月別漁獲高(大・中型)



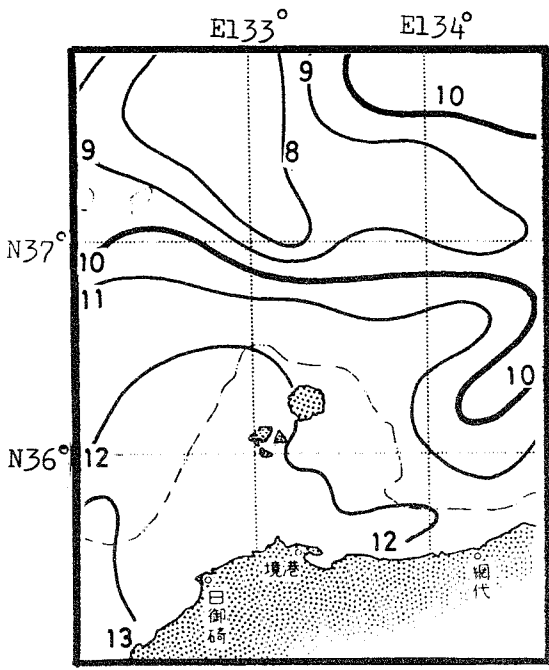
図一〇 境港におけるカタクチイワシの
月別漁獲高(大・中型)



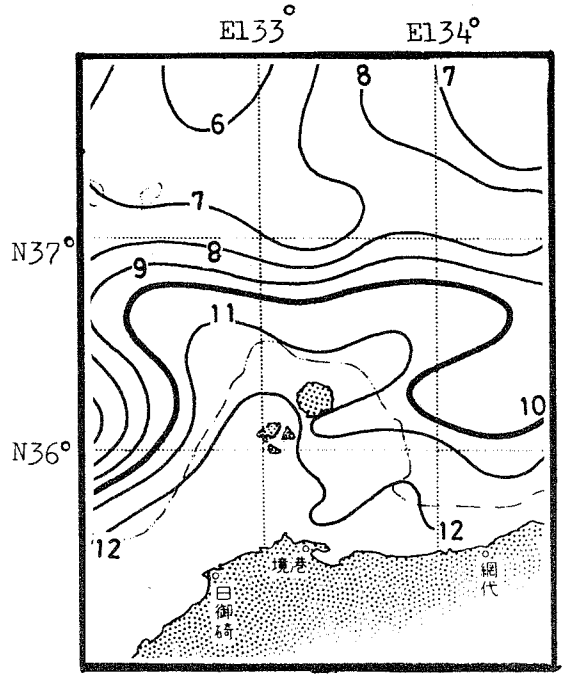
図一〇 境港におけるウルメイワシの
月別漁獲高(大・中型)



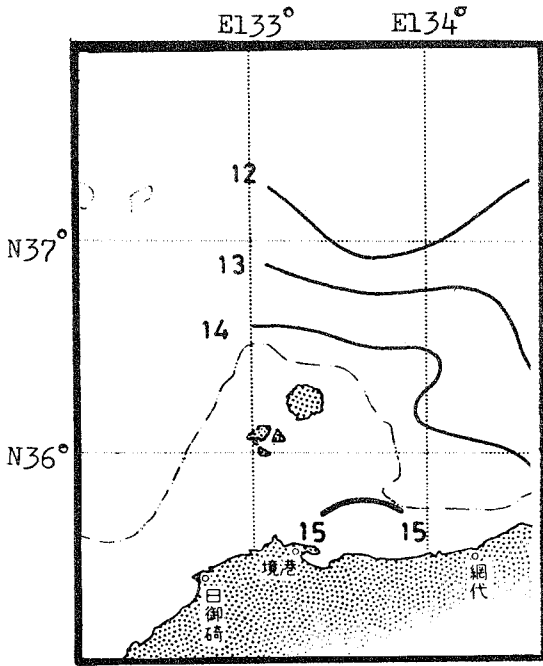
図一〇 境港におけるウルメイワシの
月別漁獲高(大・中型)



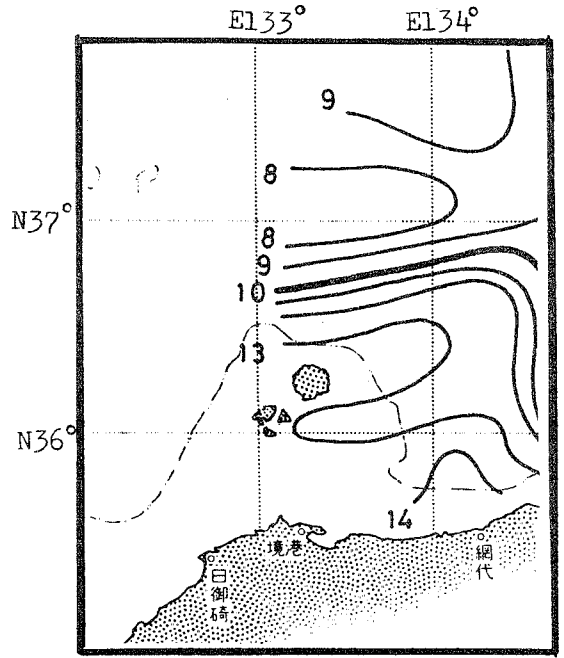
1981年4月上旬
表面水温(°C)



1981年4月上旬
50 m層

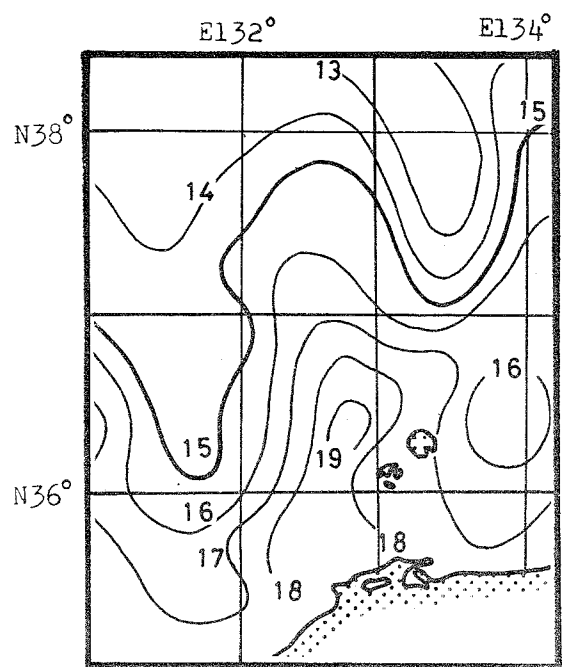


1981年5月上旬
表面水温(°C)

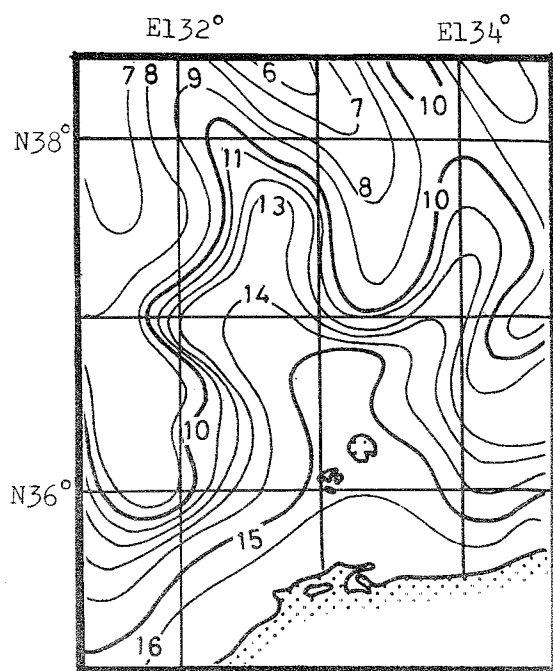


1981年5月上旬
50 m層

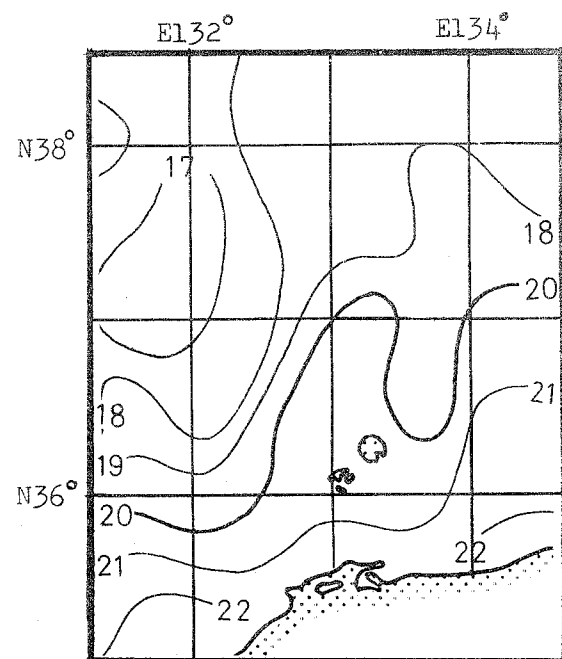
図一 13(1) 鳥取県沖合の水温水平分布



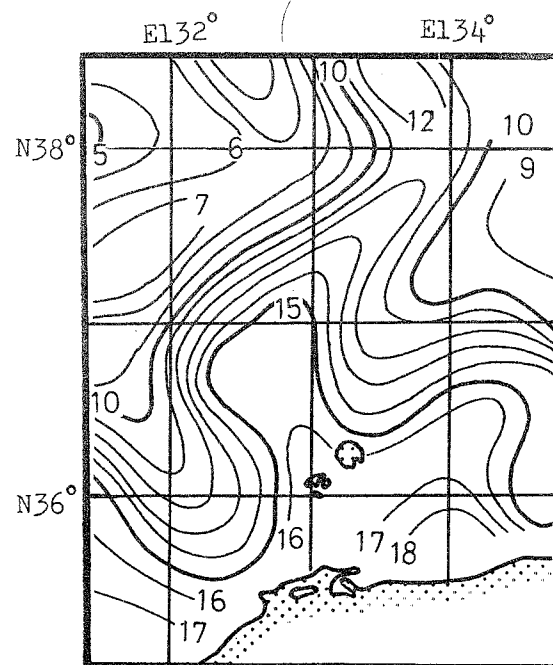
1981年6月上旬
表面水温(°C)



1981年6月上旬
50 m層

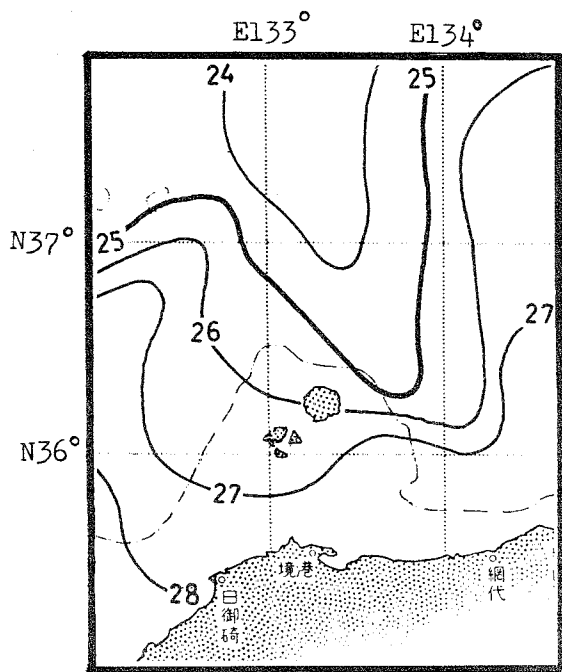


1981年7月上旬
表面水温(°C)

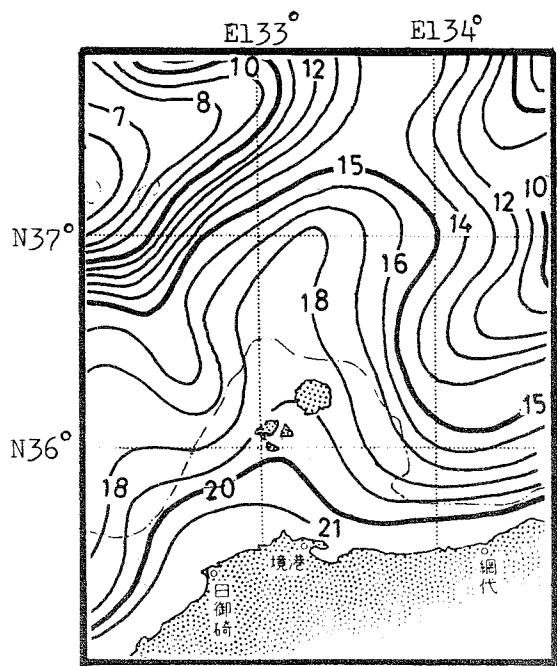


1981年7月上旬
50 m層

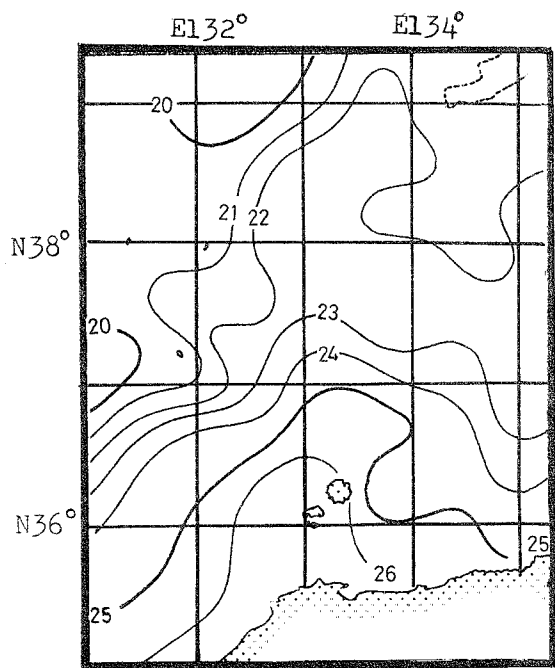
図-13(2) 鳥取県沖合の水温水平分布



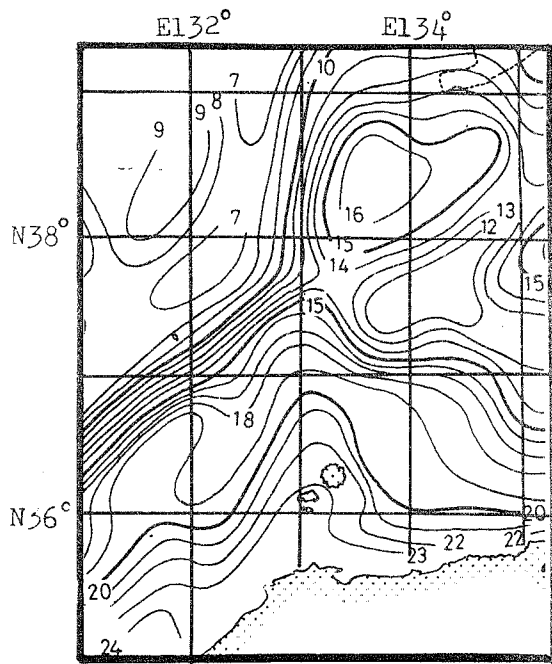
1981年8月上旬
表面水温(°C)



1981年8月上旬
50 m層

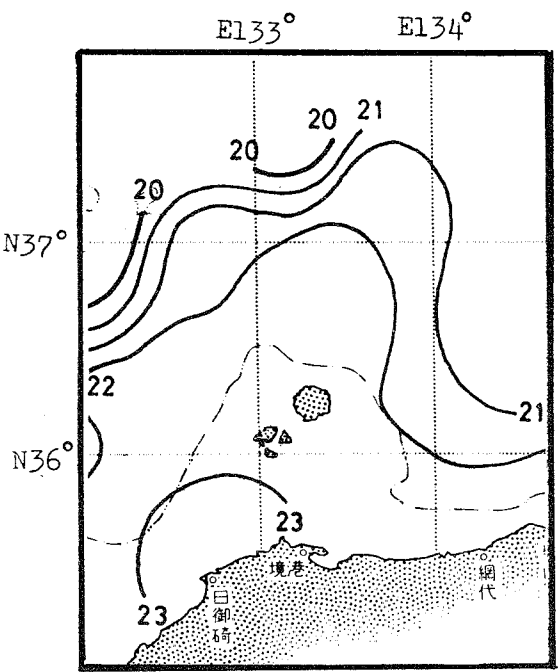


1981年9月上旬
表面水温(°C)

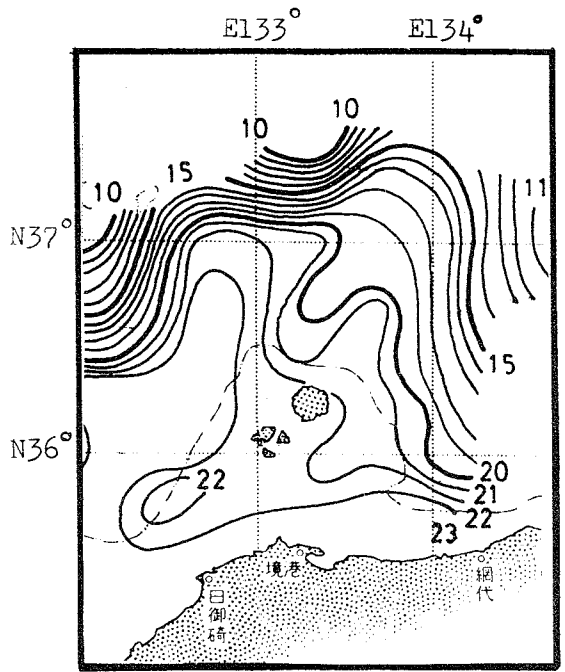


1981年9月上旬
50 m層

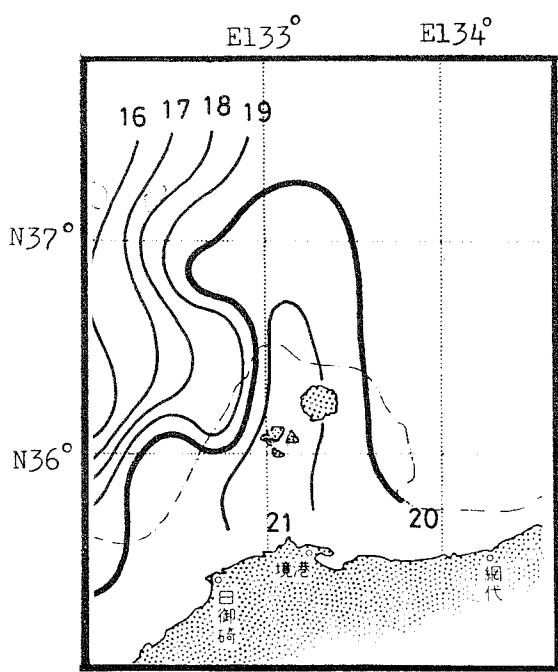
図-13(3) 鳥取県沖合の水温水平分布



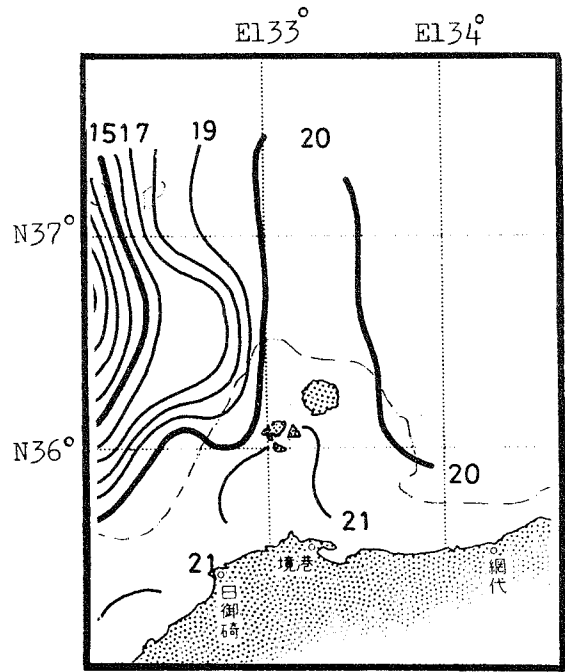
1981年10月上旬
表面水温(C)



1981年10月上旬
50 m層

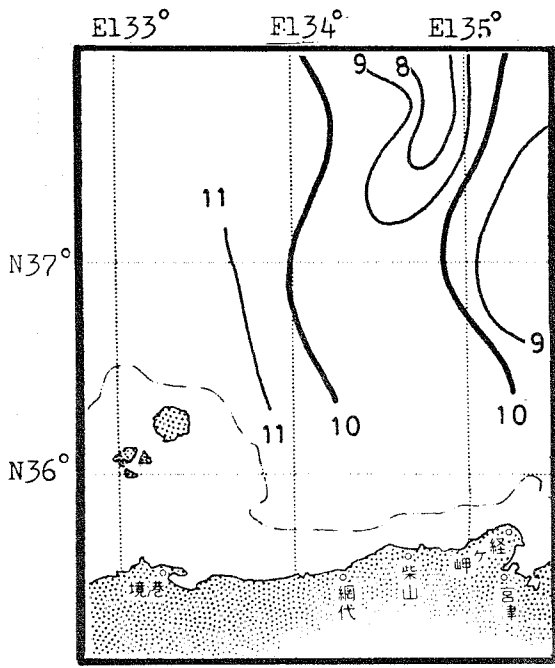


1981年11月上旬
表面水温(C)

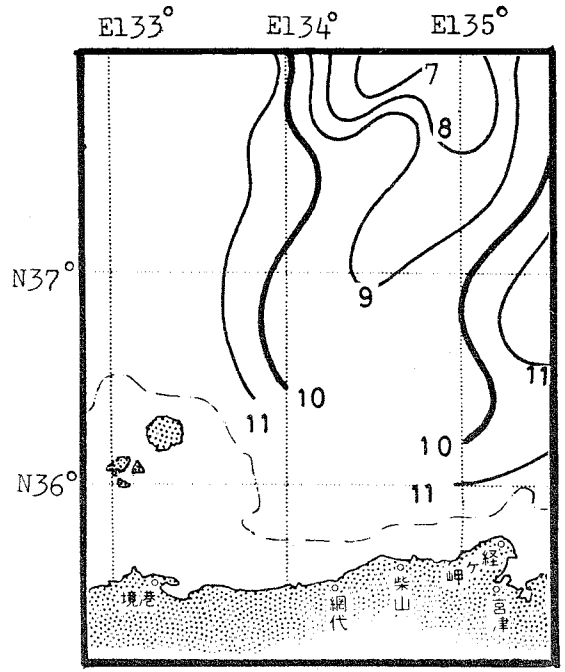


1981年11月上旬
50 m層

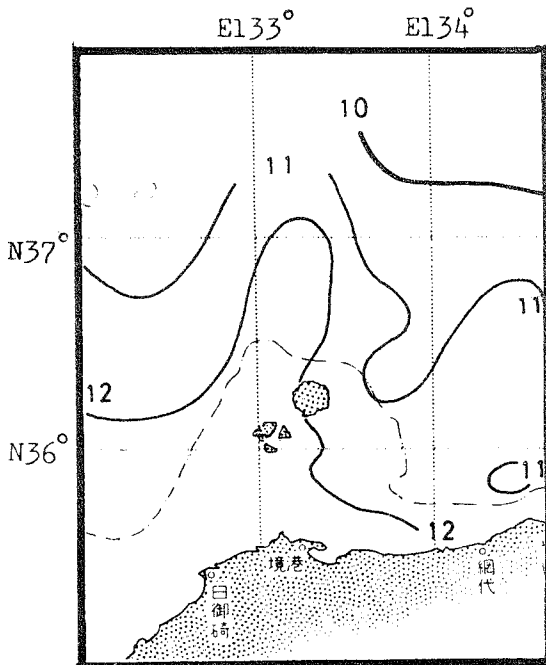
図-13(4) 鳥取県沖合の水溫水平分布



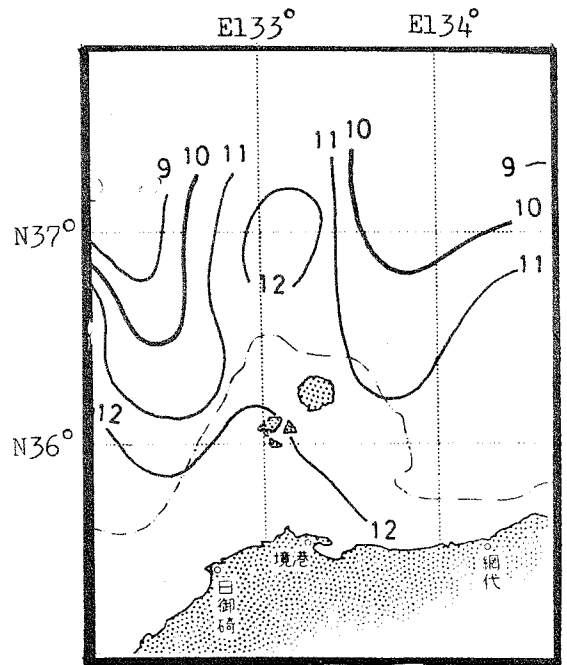
1982年2月上旬
表面水温(°C)



1982年2月上旬
(50 m層)



1982年3月上旬
表面水温(°C)



1982年3月上旬
50 m層

図-13(5) 鳥取県沖合の水温水平分布